

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 8 月 8 日 (2019.8.8)

【公開番号】特開 2017-167504 (P2017-167504A)

【公開日】平成 29 年 9 月 21 日 (2017.9.21)

【年通号数】公開・登録公報 2017-036

【出願番号】特願 2016-131645 (P2016-131645)

【国際特許分類】

G 0 2 B 7/02 (2006.01)

G 0 3 B 17/55 (2006.01)

G 0 2 B 13/14 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 7/02 D

G 0 2 B 7/02 Z

G 0 3 B 17/55

G 0 2 B 13/14

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 25 日 (2019.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

赤外線を透過するレンズと、
前記レンズを保持する鏡筒と、を備え、
前記鏡筒は、
鏡筒本体と、
前記鏡筒本体の一方の端部側に配置されるキャップと、を含み、
前記レンズは、前記鏡筒本体と前記キャップとに挟まれて保持され、
前記キャップには、前記レンズの温度を調整するヒータが設置される、赤外線レンズモジュール。

【請求項 2】

前記鏡筒本体の前記レンズに接触する領域は、前記キャップの前記レンズに接触する領域よりも熱伝導率が小さい材料からなる、請求項 1 に記載の赤外線レンズモジュール。

【請求項 3】

前記キャップの、外部に露出する面以外の面の放射率は 0.7 以下である、請求項 1 または請求項 2 に記載の赤外線レンズモジュール。

【請求項 4】

前記レンズを構成する材料は硫化亜鉛である、請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載の赤外線レンズモジュール。